

賀正

ことしは未(ひつじ)年。幕別町でひつじが最も多く飼
 われたのは、昭和二十四年の約三千頭。今は七戸の農家
 で二十二頭、町営牧場で七十三頭が飼われています。
 今年も表紙は土井博詞さんに描いていただきました。
 土井さんはここ一年間、山を描き続けています。その山
 が背景に描かれていて、土井さんの作品の中でも、あま
 り見られない絵になりました。「ひつじは、やさしいイメ
 ージがあるから、その雰囲気を出すのが難しいな」と話
 していました。



12月1日現在 男10,663人 女11,287人 計21,950人 (前月比+12人)6,931世帯

1 まい 広報
1991 No.468



土井博詞さんの個展
 千支二周目第二回

○一月三日(休)

一月十日(月)まで

○帯広市西二条南

八丁目・弘文堂

画廊(入場無料)

新 年

21世紀に向けた町づくりの始まり



町長 林 照男

幕別町のみなさん、明けましておめでとうございます。輝かしい新年をみなさまとともに迎えることができ、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、厳しい地方財政の中で国費、道費の導入に努めながら健全財政を保ち、長年の懸案でありました図書館の建設をはじめ、札内北小学校プールや古舞近隣センターが完成し、ひとりぐらしのお年寄り等を対象にした緊急通報システムが開通するなど、計画をしたほとんどの事業を完了することができました。また二十二年間、みなさまにご利用をいただきました町営幕別温泉ホテルが三月三十一日で閉館し、いま民間で新たなホテルを建設しているところであります。

さて希望に満ちた新年は、西暦二千年までの指針となる「幕別町第三期総合計画」がスタートする年であります。二十一世紀に向けて、また平成八年の開基百年に向けて、みなさまのご理解とご協力をいただきながら、新しい町づくりが始まります。

今後さらに明るく豊かな幕別町を建設するために、あとわずかの任期ではありますが、みなさまの先頭に立って全力を尽くす覚悟でございます。本年もなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまのご健康とご発展をお祈りいたしまして、年頭のごあいさついたします。

賀 謹

町民のみなさまにはご家族おそろいで、希望に満ちた平成三年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。年頭にあたり議會を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は東西冷戦の構図が一変し、国際緊張緩和の幕明けとして大きな期待が高まりました。しかしながらその一方で中東紛争が勃発し、わが国もこれに巻き込まれるなど、国際社会の一員として多事多難な時代を迎えるに至りました。わが国は今後、紛争で生じた難民救済後進国への経済支援、技術協力等々、経済大国としての責務を果さなければ、と考へさせられます。

さて、本町では基幹産業であります農業は、外圧でますます厳しさを増しており、商業につきましても大型店の出店問題など、今日の時代を反映してその余波を受けています。

また、札内市街の国道整備が完了し、その沿線の変貌は目を見張るものがあります。今後は、幕別本町の国道整備が急務でありましょう。

議會といたしましても、今後なおいっそう活力に満ちた町づくりをめざし、議會の審議を通して、最善の努力を傾注してまいります。

私どもの任期も余すところわずかではありますが、最善の努力を傾注してまいります。町民のみなさまのますますのご健勝を念じつつ、所感の一端を述べて年頭のごあいさついたします。

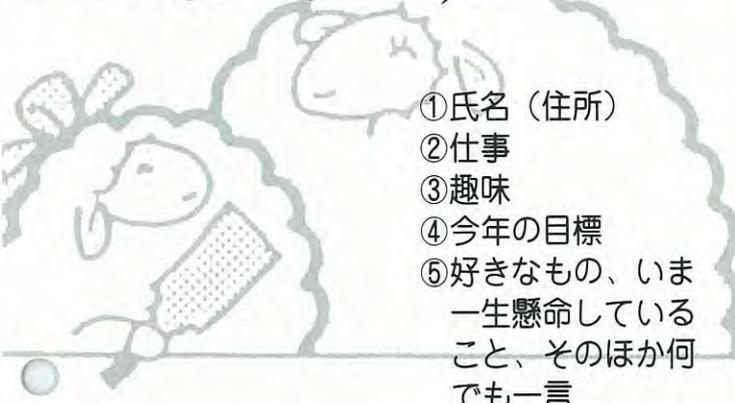
審議を通して活力に満ちた町づくり



町議長
会長

関口茂男

未成年で生まれます



- ①氏名(住所)
- ②仕事
- ③趣味
- ④今年の目標
- ⑤好きなもの、いま一生懸命していること、そのほか何でも一言



- ① 玉堀 泰正きん (青葉町)
- ② 白人小学校2年1組担任
- ③ パチンコでストレス解消。
- ④ 最近めっきり体力が落ちた。たってもきたので体を鍛えなおす。とりあえず冬の間はスポセンでトレーニングをします。
- ⑤ 子供たちが自分のことは自分でできるようになってほしい。

36

- ① 久保 泰子きん (緑町)
- ② 主婦
- ③ レース編みとドライフラワーづくりをたまにします。
- ④ もう少しバトミントンがうまくなりたいですね。
- ⑤ 家族みんなが健康で1年を過ごせれば最高。夢の夢かもしれませんが、今年中に旅行をしたいなあと思っています。



- ① 佐々木 智治くん (青葉町)
- ② 白人小学校6年生
- ③ 国語が好き。ファミコンも好き。
- ④ 4年生の時からクラブで卓球をしているんだ。でも中学生になったら、バスケットをしたい。それと英語が始まるので、一生懸命勉強して話せるようになりたい。

12
48

- ① 佐々間 たまきん (あかしゃ町)
- ② 無職
- ③ 裁縫が好き。
- ④ もう、しばらく入院をしているんだけどね、去年までは、お盆とお正月には家に帰っていたの。今年はちょっと無理だったので、また帰れるようになりたいの。それとごはんもおいしく食べれるようになりたいね。



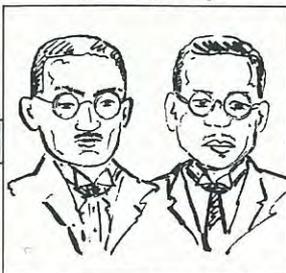
84

- ① 工藤 栄子きん (西町)
- ② 主婦・パート
- ③ とくにありませんけど、たまにするパチンコかな。
- ④ 今年は、お父さんと子供たちといっしょにパークゴルフをしたい。少しやせれるかな。
- ⑤ 長男は車を運転するのが仕事なので、事故がないように。みんなが健康であればいい。



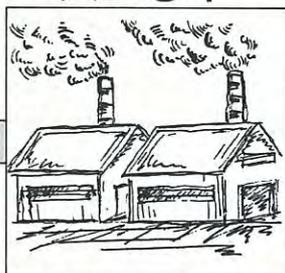
- ① 長内 長作きん (あかしゃ町)
- ② 無職
- ③ 趣味はとくにありません。
- ④ 体調を崩して入院しているけど、体力をつけようと思って病院にある自転車こぎを毎日20分ぐらいするんだ。毎年正月すぎには孫たちがみんな集まって誕生祝いをしてくれるんだ。それまでに退院するつもり。

昭和6年



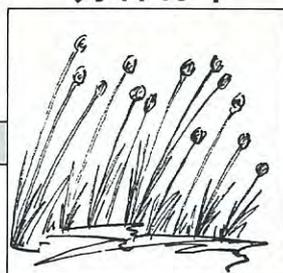
岩田栄蔵・渡部辰衛の二人が村長に当選

大正8年



合資会社新田ベニヤ製造所操業

明治40年



幕別で初めて亜麻を耕作



夫婦で同じエト 28組

大正8年(72歳)	1組	昭和30年(36歳)	12組
昭和18年(48歳)	9組	昭和42年(24歳)	6組

親子で同じエト 63組

明治40年と昭和18年	1組	昭和18年と昭和42年	19組
大正8年と昭和18年	6組	昭和18年と昭和54年	4組
大正8年と昭和30年	2組	昭和30年と昭和54年	31組

平成2年12月10日現在



- ① 小田桐 智子 さん(桜町)
- ② 消防本部でアルバイト
- ③ 自分の車でドライブすること、隣に乗せてもらってドライブすること。
- ④ 2年前に買った2000ピースのジグソーパズルを完成させたい。
- ⑤ 今年は友達がドンドン結婚しそう。私も25歳までにはなんとかしたいなあ。

24

- ① 阿部 初実 さん(桂町)
- ② 第一いずみ幼稚園教諭
- ③ 何でもいから体を動かすこと。ドライブも大好き。
- ④ 何でもやって自分の視野を広げたい。ドーンと海外旅行もしたい。
- ⑤ お正月に短大時代の友達とスキーに行くので骨折しないように気をつけてきまーす。



わたしたち しかも 1月1日

あけまして
おめでとう
ございます

平成3年元旦



未年生まれの人数 1,658人 (男793人 女885人)

年代別	男	女	計	年代別	男	女	計
明治28年(96歳)	2	1	3	昭和18年(48歳)	173	147	320
明治40年(84歳)	27	38	65	昭和30年(36歳)	129	173	302
大正8年(72歳)	68	78	146	昭和42年(24歳)	105	130	235
昭和6年(60歳)	126	144	270	昭和54年(12歳)	163	154	317

平成2年12月10日現在

72

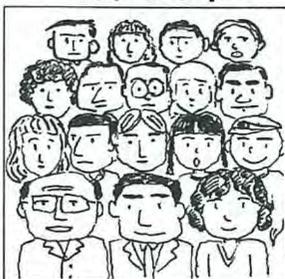


- ① 小野 小百合 さん(若草町)
- ② スーパーかとう店員
- ③ 音楽を聞くこと。
- ④ 結婚です。実は1年間つきあった同い年の彼と今年中に結婚します。楽しい家庭をつくりたいと思います。
- ⑤ 会社の人とか友達とかでカラオケボックスに行っ、思いっきり歌を歌っています。

- ① 八代 正一 さん(緑町)
- ② 無職
- ③ 水墨画を書くこと。
- ④ 週2、3回パークゴルフをしている。今年はニッタOB会の大会で上位入賞を旨ざすつもり。水墨画も退職してから通信教育で始めたんで、上手、下手は別にして、ずっと続けるつもり。



昭和54年



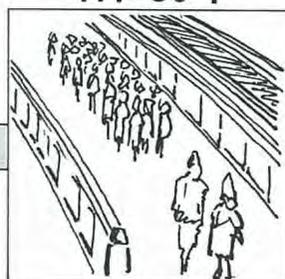
人口が2万人を超える

昭和42年



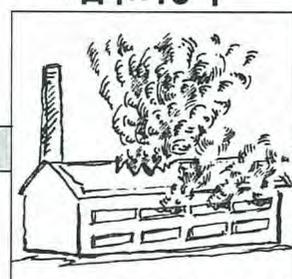
幕別・豊頃学校給食センターが完成。完全給食を始める

昭和30年



止若橋が永久橋になる

昭和18年



帝国製麻止若工場が全焼



大人になりました。206人が成人式に集う(15)

- 町民会館で新年交礼会(5)
- 100人のちびっ子が将棋の腕を競う(7)
- ロッジ完成、スキー場がオープン(7)
- 幕別吹奏楽団誕生、町民会館で初の演奏会(10)
- 全町スピードスケート選手権大会で56個の大会新記録(14)
- 元巨人軍の土井正三さんがスポセンで野球教室(24)

「退屈だなあー何かして遊ぼうよ」と、お子さんにまわりつかれているお父さんへ。おまかせください、今年も『すくじ』があります。去年のできごとを振り返りながら、退屈しのぎにみんなまで遊びましょう。「」の中には、あなたの家のできごとを書きましよう。

笑いこけたミニスキージャンプ大会(11)

- 中里小の子供たちが沖縄に雪ダルマを送る(14)
- 幕別中学校の生徒会が交通安全祈願の千羽鶴を町に送る(23)
- 女性ドライバー友の会が10周年の記念式典を開く(25)



22年間みなさまに親しまれた町営幕別温泉ホテルが閉館(31)

- 女性のお祭り第9回婦人まつりが町民会館で華やかに、にぎやかに開催(4)
- 農業後継者の新婚カップルを励ます会に7組出席(9)
- 明るい町づくり住民大会で活発な意見交換(11)
- 文化・スポーツ奨励賞を41人、12団体が受賞(21)



地上12階建ての新ホテルの起工式(19)

- ふるさと館のジュニアスタッフがバードウォッチング(6)
- 新和少年自然の家のふれあい農園開き、ジャガイモの種などを植える(13)
- 身体障害者福祉協会幕別分会が設立30周年記念式典を行う(30)



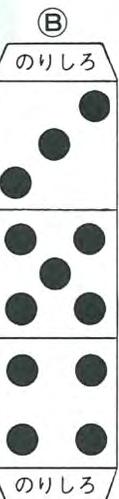
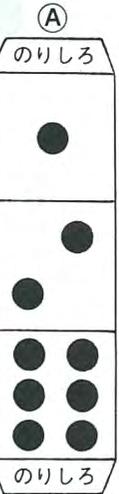
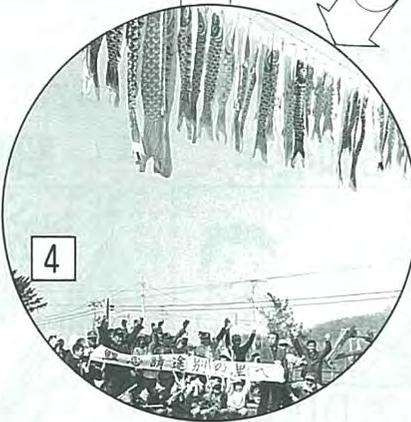
ひとり暮らしのお年寄りに24時間の安心、緊急通報システム開通(25)

- 暑さもなんのその芝桜まつりに3000人(10)
- 約4億9000万円の図書館の建設工事が始まる(11)

☑が出たら1回休み
☒が出たら7に進む

途別のお父さんたちが55匹の
コいのほりをあげる(7)

- 町営幕別温泉ホテルの建物売却を含む契約に調印(17)
- いっぴり教室が初めて開かれ、機能回復訓練に汗を流す(12)
- カルメル会女子修道院の起工式(18)
- 薬湯の施設、励明薬湯十勝健康プラザも地鎮祭(26)
- しらかば大学に新1年生22人が入学(27)





切りとって
見せるしに
しよう

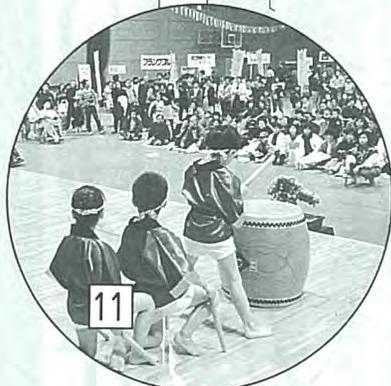


ここで問題です
●去年のイトはなに
●あなたの新年の抱負を
できなかったら回へもどる

町民大学講座開校、定員を大幅に上回る47人がアイヌ文化を学ぶ(11)
●励明薬湯十勝健康プラザが完成200人が出席して祝賀会(1) ●林町長に総合計画審議会から第3期総合計画案が答申される(7)



ふれあい広場に2000人笑顔と愛が広がる(18)
●犯罪のない明るい町づくりをと防犯宣言(1) ●ひばりの会が20周年(3) ●女子修道院完成、関係者200人が竣工を祝う(14) ●桂町第1公区が20周年(21) ●古舞公区は開基90周年、新しい近隣センターも完成(24) ●札内桜町公区も15周年を祝う(25)



☐が出たら2回休み



見事な秋晴れ産業まつりに2万人(7)
●町民芸術劇場5周年コンサートで上條恒彦さん熱唱、400人が酔いしれる(2) ●全幕別柔道連盟が20周年(10) ●自分たちの目で見て耳で聞く町民見学会に55人が参加(19) ●子供たちが風船を上げてお祝い、札内北小開校10周年

言葉は通じなくても、いっしょに笑えるパークゴルフ国際大会11カ国184人が出場(5)
●すごいぞ全国3位、幕小6年の女子11レーチームが京都市で開かれた全国大会で快挙(25) ●おめでとう、磯部なみさんが白寿のお祝い(26)



おじいちゃんとおばあちゃんが
大集合、札内スポセンに750人が集まり敬老会(15)
●子供たちが輝いた、幕中2年生5人が野火を消して消防から感謝状(11) ●札中吹奏楽は初の全道大会出場(15) ●商工会が創立30周年(26) ●ライオンズクラブは20周年(30) ●八十馨さん来町、600人が話芸を楽しむ(26)



みんな大喜び北小プールが完成(18)
●若い女性と農業青年がさくらんぼ狩りで交流(1) ●デイサービス事業に対応するため、特養札内寮で増築工事(11) ●商工会青年部の幕別と札内支部が合体、初事業のサマーカーニバルインせつないに500人(21)



☐☐が出たらふりだしにもどる

わたしたちの身近にも もう一つの文化がある

北海道の文化には、開拓者が持ち込んだものとアイヌの人たちによって引き継がれたものがあります。わたしたちの身近にあるもう一つの文化を学ぼうと、町民大学講座の第一回が十二月十日に行われました。これから四カ月、講座ごとの内容をご紹介します。

十勝にアイヌの人たちはいつごろから住んでいたか

アイヌの人たちは、北海道のほか、ずうっと昔は樺太南部や千島列島(今のソ連領)、本州の東北部という広い地域に住んでいました。人々は大きな河川やその支流の河川を中心に、数軒から数十軒の単位でコタン(集落)をつくり、豊かな自然の中で動物や魚をとって生活していました。その人口は、江戸時代後期で二万数千人と言われて



『北海道のアイヌ文化』をテーマに第1回は白老アイヌ民族博物館学芸員の内田祐一さんが講演。「アイヌの人たちの文化を学ぶことによって、わたしたちの生活にとり入れられるものもあるはずですよ。今日はみなさん熱心に聞いてくれましたので、話にも力が入りました」と言っていた

今から三百四十八年前の西暦一六四三年、オランダの探検船カストリカム号が十勝沖に来ました。その航海日誌の中には「アイヌ民族に出会った」ということが書かれています。また一六四四年、松前藩が幕府に日本総国図の資料地図を献上しました。この中には「とかち、えぞあり」と書かれていて、この地図の調査は、一六三五年に行われていたそうです。

下の地図とコタン名が書いてある表は、

一八〇〇年ごろに十勝のコタンを調べたものです。コタン名の表の中にある15サツナイブトフ、17マカンベツ、18ホロナイブトフ、20ヤムワツカヒラが幕別町内にあったコタンの位置で、合わせて十一戸あったと確認されています。

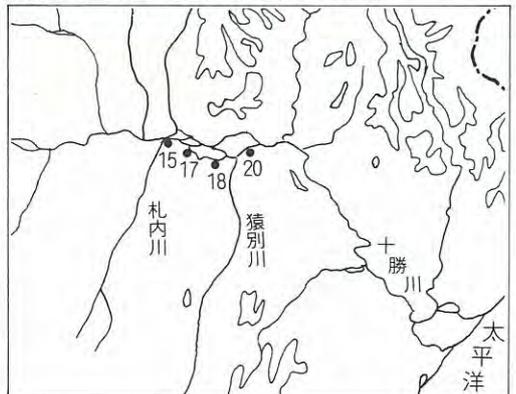
信仰を生活の基盤として すべてに神が宿ると信じた

アイヌとは人間を意味する言葉で、人格行動ともに立派な男性をあらわす時に多く用いられます。アイヌの対語がカムイという言葉で、カムイとは神様のことです。アイヌの人たちは、信仰を生活の基盤に

していました。見る、聞く、感じる、ことができるのも神の力によるもので、自然や動物、人間の作った器物など、すべてに神が宿ると信じていました。人間の生活は神々によって守られ、災害にあうのも無事に生活できるのも神の力によるものと考え、そのため神々へお祈りする時は、正装をして厳格に儀式をとり行いました。

享和ごろ(1800年)の十勝のコタン名と戸数、幕別町にコタンがあった位置(左の表と地図の番号は一致する)

番号	コタン名	戸数	番号	コタン名	戸数	番号	コタン名	戸数
1	ニトマツフ	2	20	ヤムワツカヒラ	5	39	タイシャノヲタ	2
2	ヒウハ	3	21	フシコトカチチヨ	3	40	ホンヲタ	4
3	シャウルブトフ	3	22	チヨタ	41	41	アイシニシ	3
4	ネモロ	3	23	ビリベツ	1	42	スタヘツツ	5
5	ヒハイロ	2	24	ビリベツブトフ	2	43	シモイクワツカ	1
6		1	25	ヒロケナシ	2	44	ウラコフシケ	2
7	ノモツケナシ	1	26	ヲリベツブトフ	2	45	ウラホトフツ	3
8	シカルベツ	2	27	ベツホ	1	46	チンネシルトロ	2
9	ホンヨコウシ	3	28	シャモマイ	4	47		3
10	カバツリウシ	1	29	ノブトロ	1	48	ネツマヲカ	1
11	ヲトフケ	2	30	トシベ	2	49	於発内	
12	ニブシベツ	1	31	アヲウシヒラ	4	50	ユウトウ	2
13	バラトブトフ	1	32	トシベツブトフ	2	51	洞武井	
14	サツナイ	3	33	ヲタベ	4	52	ベロツナエ	1
15	サツナイブトフ	2	34	ヲタベツ	2	53	フレベツ	1
16	サツテコオトフケ	1	35	ウツナイブトフ	2	54	メム	1
17	マカンベツ	3	36	レフンライ	6	55	カシレ	3
18	ホロナイブトフ	1	37	ノヤウシ	6	56		2
19		2	38	ウシベツ	2	57	美老	



(羽田野正隆「十勝平野におけるアイヌ集落の立地と人口の変遷」より)

定員30人に対して、受講を希望した人は47人。全員が出席して行われた第1回講座。講師の内田さんの言葉を一言も聞きもらすまいと、耳をそばだて一生懸命メモをとっていた。アイヌの人たちの暮らしや生活の知恵に「ほー、なるほど」との言葉やウン、ウンとうなづく人も多かった



厳格なきままりを守り 自然の調和をくずさない

アイヌの人たちは、それぞれの集落で自分たちの狩猟場を持ち、厳格なきままりを守りながら、自然の調和をくずすことなく、暮らしていました。

衣

服には普段着と儀式用があり、普段着は樹の皮で作った物（樹皮衣^{じぶひい}）アツトゥシュー（アツシ織り）や本州との交易で手に入れた木綿布で作った物を着ていました。儀式用には着物に美しく刺しゅうした物や樺太を経由して入ってきた大陸製の絹の着物を用いられました。また普段は、はだしですが、狩りに行く時などはぶどうのつるで編んだ物をはき、冬は鹿やサケの皮で作った靴をはきました。

食

冬を健康的に過ごすことが食事の基本であるため、獣や魚の油を多く使い、

受講した人にちよつと一言、聞いてみました



生沢雅代^{さん}
(20歳・桂町)

興味もあり勉強のつもりで

帯広の保育所で保育をしています。子供たちのお母さんとアイヌの人たちの踊りをしようとしたんですが、良く理解しないうちは無理、中止になりました。その勉強のつもりで来ました、もともと興味もありましたし。わかりやすいお話で、大正十四年の16^ミ映画も見れて、とても良かったです。



植田公明^{さん}
(29歳・桜町)

住

生や天日乾燥をした緑色の山菜を多く使うことが料理の特徴でした。（ギョウジャニンニクを天日乾燥させると、煮てもゆでも臭くないと内田さんが言っていた）。山では鹿やオオウバユリ、木ノ実、川ではウグイやヤマベ、特にサケはカムイチュエブ（神の魚、またはシベ（本当の食べ物）と呼んで、たくさんとりました。魚などは焼き干しにして、保存食にもしていました。

まいはチセと言いい、その地方によって形が決まっていました。家の中は一部屋で二、三カ所の窓があります。その一つは神様が出入りする窓とされ、この窓がある一定の方向に向くことにより、家の向きが決まりました。また家の回りにはアシンル（トイレ）、プ（倉庫）、ヌサ（祭壇）、ヘペレセツ（檻、神々に感謝する儀式、イオマンテをするために子グマを飼っておく）があり、すべて、その形や位置が決められていました。
（二月号に続く）

標津の人たちとの違いを知りたい

根室管内の標津町に住んでいた時に、そのアイヌの人たちとつき合いがあったんです。こちらとどう違うのかを知りたくて申し込みました。今日は全体的な話でしたが、次回からは幕別のことがテーマになっていますので、今から楽しみにしています。もちろん、四回全部出席です。

町民大学講座のこれからの日程とテーマ

内容	テーマ	内容 (講座時間は午後7時から午後9時まで)
1月21日(月)	幕別町のアイヌ文化	○ムックリ演奏 安東ウメ子 ^{さん} ○講演 小助川勝義 ^{さん} (ふるさと館事業委員)
2月18日(月)	幕別町アイヌ語地名	○16 ^ミ 映画「十勝アイヌの歌と踊り」 ○講演 小助川勝義 ^{さん}
3月4日(月)	暮らしと神々	○スライド上映 ○講演 内田祐一 ^{さん}

第2回のテーマは「幕別町のアイヌ文化」講師は糠内中学校に6年間いた小助川勝義^{さん}。千住の安東ウメ子^{さん}のムックリ演奏もある。写真は昨年10月に行われた白人小学校PTA研修会での小助川^{さん}と安東^{さん}



興味がある人はどんどん来て下さい

20歳になったあなたに送る 国民年金加入のすすめ

今日からスタート

人生八十年時代。いま私たちは世界で一番長生きできる国に住んでいます。長生きできるのは、すばらしいことです。それだけ自分の一生を長い目でみた人生設計が大切なものになってきていると言えます。

一月十五日は成人の日。二十歳になって大人の仲間入りをしたばかりで希望に輝いているでしょう。そんな時に、これから何十年も先のことなんて考えられないかも

もしもの時の備えのためにも

れません。でも、あなたも必ず、そして間違いなく、お年寄りと呼ばれる時がやってくるのです。

長い一生の間には、どんなことが起きるかわかりません。そんなもしもの時の備えとして、農業後継者や自営業、そして学生のみなさん、国民年金に必ず加入しましょう。

さあ、役場年金係で加入手続きをして、今日から人生設計のスタートです。

もしもの時に障害基礎年金

国民年金に加入していれば、もしも病気になる時、または事故にあった時に障害基礎年金が支給されます。

障害基礎年金を受けるためには、①初めて診察を受けた日の前に、加入期間の三分の二以上の保険料を納め、また一年間滞納をしていないこと②障害と認定された日に一級、または二級の障害の状態(たとえば一級は、両手の指をすべて欠く場合など一級で十一項目、二級は十七項目に障害の程度がつけられている)であること一となっ

ています。加入手続きや相談は役場年金係へ



昨年の成人式の記念撮影のようす



近隣センターは大広間のほか和室3室、調理室もある。へき地保育所もかねる

古舞開基90周年 近隣センター落成 みんなで祝う

古舞公区の開基九十年と近隣センターの落成を祝う式典が十一月二十四日、新しくなったばかりの近隣センターで行われ、公区のみんなでお祝いをしました。

式典は落成式から行われ、堀田忠雄落成記念事業協賛会長があいさつ、土地提供者の柴田善治さん、旧公民館管理人の小川よしのさんに感謝状を贈ったあと、林町長などが祝辞を述べました。開基九十年記念式典では物故者に黙とうをささげたあと、佐伯実記念事業協賛会長が式辞を述べ、開基七十年以降の町議会議員や公区長に感謝状が送られました。

このあと会場を小学校体育館に移して祝賀会が行われ、子供たちやお母さんたちが総出でアトラクションを披露。お祝いに彩りをそえました。なお近隣センターの完成を祝い、小川邦正さんから公区にコピー機一台が寄贈されました。

新しくなったばかりの近隣センターで行われた記念式典



祝賀会は子供とお母さんたちが総出でアトラクションを披露



寄付ありがとうございます

■町へ ▼幕別町交通遺児奨学資金チャリティーショー実行委員会(富谷晴一会長)から奨学資金基金へ十五万円▽大石忠夫(緑町)から図書館図書購入に十万円

■社会福祉協議会へ ▼パーラーBe-1から二万円▽上田健治(相川)から十万円▽榊小林商店から五万二千五百七十五円▽八十

百五十円▽幕別中学校吹奏楽部から一万一千八百十八円

■老人クラブへ ▼上田健治(相川)から相川西楽寿会へ三万円▽荒正己(緑町)から緑町老人クラブへ三万円▽助川忠美(新和)から新和老人クラブへ三万円▽遠藤まさよ(春日町)から札内寿会へ五万円



糠内 藤谷依奈 5歳 あかしや町 ちばさやか 4歳



桂町 工藤ゆかり



暁町 千田由里子

広報クイズ—(46)

500円の図書券が当たる

“1年の計は元旦にあり”と言います。今月あたった人は何かいいことがあるかもしれません。

- ①今年のエトは未、その動物はなに
Aひつじ Bうま Cねこ
- ②年男と年女は全部で何人かな
A1,388人 B667人 C721人
- ③図書館の建設工事が始まったのは何月
A6月 B1月 C12月
- ④町民大学で勉強したのは
Aアイヌ文化 B国語 C理科
- ⑤第3期総合計画が始まるのは平成何年度
A3年度 B10年度 C12年度

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えて下さい。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃く書いて下さいね。

★あて先☎089-06

幕別町本町130 役場・広報広聴

★締め切り=毎月15日

★前回の正解は、①-A、②-B、③-A、④-C、⑤-Aでした。応募53通で全問正解が45通。抽選で次の5人が当選しました。(敬称略)

伊藤なつき (10・南町) P.Nまるちゃん (?・暁町) 藤川しのぶ (9・共栄町) 大江貴裕 (11・春日町) ちばのぞみ (6・あかしや町)

みんなのページ

今年ハガキで一言やほんの一言のスペースをとることができなかったの、編集室から算数の問題を出します。

去年の一月から十二月までの一年間、広報クイズに応募してきたハガキの数は五百五十三通。全問正解は四百六十通で、そのうちの六十人にめでたく図書券があたりました。それでは、ここで問題です。図書券があたった確率は何パーセントだったでしょう。答えはあとで。

こちら編集室です



あかしや町 丸子竜一



宝町 武田牧子 17歳

あなたの意見2月号は

私の健康法

平成二年九月現在、百歳以上の長寿者の数は全国で三千二百九十八人(前年比二百二十人増)と、過去最高となりました。そのうちの八割が女性で、最高齢者は百十二歳。幕別町の最高齢者は千住に住む磯部なみさん(満九十八歳)です。

人生八十年時代と言われる世はまさに健康ブームです。健康食品やドリンク剤がたくさん出ていますが、やっぱり体が資本です。二月号では私の健康法をテーマにします。いろんな健康法を教えてください。



第三期総合計画を答申

幕別町第三期総合計画審議会(木村正夫会長)は十二月七日、平成三年度から始まる第三期総合計画(平成十二年度まで)の産業振興など五本を にした基本構想、基本計画案を林町長に答申しました。この日は木村会長、笹井俊治、多田順一両部会長が役場を訪れ、各委員からの意見も添え、林町長に答申書が手渡されました。



お母さんともちつきをした

緑町第4公区の子供会が12月9日、緑町近隣センターでもちつきをしました。子供たちもお母さんも初めてのことであって、最初はなかなか呼吸が合わずに四苦八苦。お昼には自分たちがついたおもちを食べながら、感想を話し合い、楽しい1日をすごしました。



ちよつと緊張しながら演奏

まくべつ町民芸術劇場(藤田和子委員長)五周年記念・第十八回定期演奏会、サロンコンサートが十二月二日、札内福祉センターで開かれました。会場いっぱいの人に子供たちもちよつと緊張しながら一生懸命演奏していました。



十勝健康プラザオープン

漢方薬草エキスを配合した薬湯の施設、励明薬湯十勝健康プラザ(国道38号線沿い、青葉町)が十二月一日完成、六日にオープンしました。同プラザは薬湯を中心に露天風呂などのほか約二百三十人収容の大広間もあります。



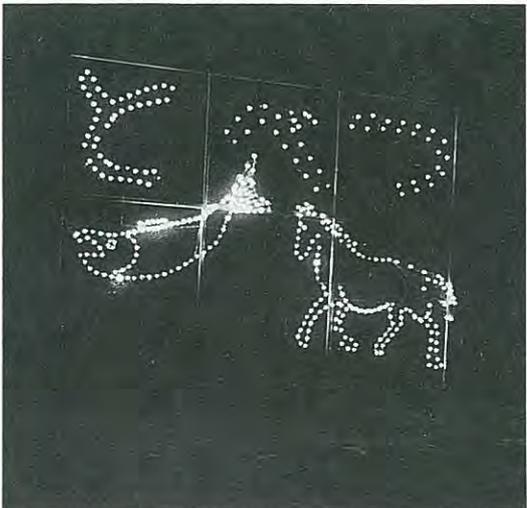
運動不足を解消いい汗流す

健康まつりが十一月二十五日、トレセンで行われました。今年ほどストレスをテーマに、その原因などを説明した資料が展示されたほか、健康体操やエアロビクスで会場にきた人たちは、日ごろの運動不足を解消、いい汗を流しました。



夜空にイルミネーションが輝いた

途別コミセンの横にイルミネーションが登場。これは『途別の夜空を明るくする会』が暗くなってからはさびしいので何かしようと考えたもので、12月16日に15人が集まり、午前9時から1500個の電球をとりつけ、午後4時に点灯。夜空がパッパッと輝き始めました。



あなたの意見二月号のテーマは私の健康法です

桜町公区15周年を祝う

桜町公区の創立十五周年記念式典が十一月二十五日、札内北コミセンで開かれ、百五十人が出席。森田徳三郎公区長のあいさつのもと、歴代公区長に感謝状を贈呈。林町長などが祝辞を述べて祝賀会に入り、十五周年を祝いました。

